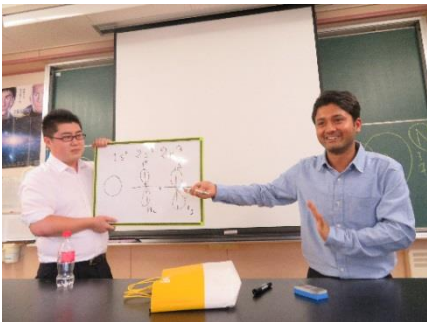
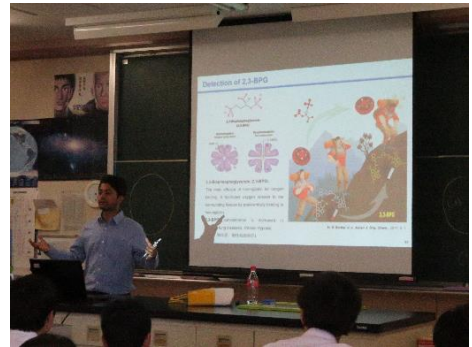




◇サイエンス・ダイアログ

9月4日(水) 対象:2年次SSHコース 場所:地学室

Himadri Sekhar Sarkar 博士(日本学術振興会特別研究員)を招き、「An Introduction to Chemical Biology」という題で講演をしていただきました。来日した理由や科学者を目指すきっかけから、ケミカル・バイオロジーや研究している光可逆的タンパク質ラベル化技術の開発と生物学の応用に関する基礎知識を講義していただきました。講師の先生は、黒板やホワイトボードを活用して分かりやすく説明してくれ、生徒たちも、早口の英語を理解しようと集中していました。講義終了後には質問が多数出るなど、生徒たちは大変刺激を受けたようです。



【生徒感想抜粋】

- ・「Be positive, respect others」という講師の言葉は、研究の促進の他にも人としての成長には不可欠だ。
- ・講師は僕が理解しやすいように身振りなどを使って熱心に説明してくれた。今回の講演を通して英語力がとても足りないと感じた。
- ・今回の講演から、科学英語を学ぶことで世界中の科学者とつながり共に研究し意見交換でき、自分の技術を上げられるから、英語学習を頑張ろうと思った。
- ・生体分子や神経ガスは医薬品化学や創薬に使われているが、蛍光プローブという全く新しい蛍光分子センサーを使って体内にある毒性元素を発見できるようになると分かった。
- ・英語で化学だなんて絶対何も分からないと思ったが、意外と分かることが多かった。神経ガスの働きや酵素が大事な働きをしているなど普段気にとめないような身体の仕組みを学ぶことができた。
- ・化学と生物は全く違うものだと思っていたので、今回の講演を聴いて新しい考え方ができた。
- ・「自分自身でよく調べる」という言葉が印象に残ったので、インターネットに頼らず自分で調べてみると新しい発見ができるのでは、と楽しみになった。

◇ビジネスプラン講座

8月16日(土)、9月7日(土)、14日(土)

対象:2年次文系希望者 場所:地学室

2年次文系希望者を対象に、日本政策金融公庫から山崎 聡氏を講師に迎え、2回ビジネスプラン講座を実施しました。最初に、山崎氏に企業の立場から、商品開発や企画をビジネスとして展開するための知識を、講義とワークショップを通じて学びました。班別に地域の資源を題材としたビジネスを展開することを前提に商品や取り組みを考え利益を上げるためのアイディアを出し合いました。その後、事前に提出したビジネスプランの素案に対して、山崎氏が詳細なアドバイスシートを作ってください、班ごとに丁寧に指導をしていただきました。指摘していただいた曖昧な部分や問題点を修正して、班ごとにプランを発表、質疑応答をしました。



班	テーマ	内 容
1班	努力でつくるエネルギー	自転車で電力を生み出す仕組み
2班	AIを搭載した欲張り冷蔵庫	様々な機能を搭載した冷蔵庫
3班	骨伝導型音声ガイド	目の不自由な人向けのナビゲーションシステム
4班	お助け戦隊マモルンジャー	高齢者向け雪かき・庭仕事サービス
5班	プリクラ改善計画	移動プリクラサービス

◇参加者募集

楽しい科学・サイエンスへの招待

日時:10月27日(日) 午前10時~午後4時

会場:弘前大学理工学部

申込〆切:10月4日(金)

弘前大学学祭期間中に、理工学部での研究内容を紹介するイベントが開催されます。理工系学部に進学したいと考えている人、弘前大学理工学部へ進学したいと考えている人は是非参加してください。詳細を知りたい人、参加希望者は、サイエンス指導部木立先生まで申し出てください。

